

ふるさと小野町会 ふれあい通信

ふるさとへの想い

堀内 礼子

(中通出身・東京支部)



東京小野町会との出会いは三年前の秋、銀座七十七銀行で行われた故郷小野町を紹介するキャンペーンの席でした。「小野町の説明会が行われるから行く」と誘ったのは主人です。ついですみかとして小野町での生活を私以上に望んでいた主人も、病のため、この春夢をかなえる事なく亡くなりました。どうして小野町の説明会を知りえたのかは分からないままです。その折に小野町会を知り、後日入会いたしました。

お墓参りに帰省するたび、「なぜ小野町は自然を生かした環境づくりをしないのか」と熱く話していました。「小野町に住むようになったら提案をすればいいんじゃない」と話はいつまで終わりました。今東京では、新たな名所が押上に生まれました。東京タワーより高い東京スカイツリーです。川面に映るその素敵な姿は心を和ませ、そして故郷のある場所を思い出させてくれます。夏井川に架かる赤沼橋の上から見る日影山の姿に、そして幼い甥っ子や姪っ子たちと塩釜神社の石段に腰かけて、あかずに眺めた竹山に沈む夕日を思い出させます。有り余るほどの自然の中で、子どもたちの遊びはありました。その幸せの何分の一でもわが子たちにふれさせて・・・の思いは常にありました。自分たちも年を重ね、故郷を遠くから見つめると色々な思いが沸き上がります。何人かの同級生と会う折、時間の経つのも忘れて小中学校時代の話に花が咲きます。小野町会にも参加する機会を主人の思いも一緒に重ねて持っていたい、皆さまにお会いできる日をと思い願っています。

交通安全教室

笑顔をいっぱい
浮金つっし児童園

9月6日に、ヤマト運輸の交通安全教室が行なわれました。

毎年行われている交通安全教室ですが、ヤマト運輸のトラックが園庭に入ってくる、子どもたちは大喜びでテラスから準備の様子も興味を持って見っていました。

交通安全教室が始まると、子どもたちの身近な内容を指導していただき、トラックの下に入ってしまう、ボールをどのように取るかという場面では、いろいろな方法を子どもたちから出しました。

その一つ、自分で取る、自分で取る、自分で取る、かという時、人形が実際に車にひかれてしまいました。すると、「わくわく」と目をそむけたり、自分と照らし合わせてみたりと、子どもたちは緊張した様子で車の怖さを再確認していました。

後半は、ヤマト運輸のキヤラクターのクローネコちゃん、シロネコちゃん、道路の横断の練習を行いました。一人一人ネコちゃんの手をつなぎ、笑顔いっぱいでの練習でしたが、正しい横断の仕方をしっかり学びました。

最後は、ネコちゃんたちと握手をして大満足！とても楽しく交通ルールを学ぶことができました。

終了後、「ネコちゃん、かえっちゃったの？」と叫びながら帰ったの、子どもたちはネコちゃんの方を心配していました。